



物価高・供給不安から現場を守る！  
現場の声でものづくり現場と消費者問題を変える

皆さま、ご安全に！村田きょうこです。

4/3公表の連合「2026 春季生活闘争 第3 回回答集計」によると、今春闘の平均賃上げ率は5.12%。昨年最終集計結果5.25%を下回る状況になっています。また、中東情勢の影響も気になるところです。シンナーやヘリウムガス、潤滑油等油脂類の価格高騰や供給の停滞の相談が増えてきました。交渉継続中の労働組合への追い風になるよう、政府に価格転嫁支援や供給不安対策を講じるよう求めています。

【現場の声届ける】脱毛エステ・サロンの問題に引き続き取り組む

4/1 参議院消費者問題に関する特別委員会で質問に立ちました。



脱毛エステ・サロンの倒産等による消費者問題についてのショート動画

大学の入学金に返金がないことについてのショート動画

この委員会で取り上げられました

タングステン価格が7～8倍に高騰、中国依存脱却

<今回のポイント>

4/2の参議院経済産業委員会で質問に立ちました。

● タングステンの供給不安と価格高騰

8割以上の世界生産シェアを中国が占めるタングステンの価格が、輸出規制により昨年比7～8倍に高騰していることを指摘しました。日本の輸入の6割を中国に依存する中、防衛や半導体分野での入手難に加え、非軍事利用の証明にかかるコスト増が日本企業の重荷となっています。

● 国内スクラップの海外流出とリサイクル

1,500トンのスクラップが年間で海外流出しており、国内循環の確立が急務です。伊吹英明政府参考人は、2024年度の国内消費量約5,000トンのうち、一定量が国外へ流れているとの認識を示しました。切削工具は6割以上が回収されているが、電子・化学分野のリサイクル率は数%に留まり、分野別の回収強化が課題となっています。

● 50億円規模の代替品切替支援を！

政府は、対策として令和8年度予算案に盛り込み、特定国依存からの脱却を急いでいます。赤澤亮正経済産業大臣は、供給源の多角化を支援するとともに、不当な価格据え置きや安い中国メーカーへの「転注」を牽制しました。約1,800の業界団体へ適切な価格転嫁を求める配慮要請を行い、経済安全保障を強化する方針を強調しました。

# 【現場の声届く】「技術も人も現場から静かに失われていく」危機への対応

## <今回のポイント>

4/22の参議院資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会で質問に立ちました。



4/22の質問の模様です。

### ● 将来像の明示と「投資・人材確保」の連動

**現場の声:** 中長期的な原子力産業に対する将来像が示されない。産業の方向性が示されないなかで、企業側において人員配置が最小限になり、設備投資も躊躇しているため、人材育成がままならない。将来像を示して欲しい。

**議事録での反映:** 村田きょうこ参議院議員は、「原子力発電の見通し、将来像を具体的に明示してほしい」と要求しました。これに対し政府側も、予見可能性を高めることが「設備投資や人材確保に不可欠」であるとの認識を示し、次世代革新炉の構築に向けた議論を進めるとしました。

### ● 人材育成・技術伝承への危機感と具体的支援

**現場の声:** 人材育成の余力がなく、特に技能職の不足が深刻。官民学が連携した対策が必要。

**議事録での反映:**

**広域連帯:** 大学や高専、高校(工業高校)を巻き込んだ人材育成枠組み(ANEC等)の活用について具体的な支援を国として行います。

**技術伝承の工夫:** 現場の「紙媒体資料による伝承の限界」という声に応えるかのように、実物大模型(モックアップ)を用いた実習への支援や、熟練者の技能をいかに継承するかという「技能職」に焦点を当てた議論をしました。

### ● AI・DX 活用と国のガイドライン策定

**現場の声:** 業務効率化のためにAIを使いたいが、情報漏洩のリスクや顧客の抵抗があり、民間単独では困難。国によるガイドラインを整備して欲しい。

**議事録での反映:** 国として、原子力分野特有の「情報管理の適正」や「情報漏えいリスク」に言及しつつ、AI活用のための環境整備や、国としてのガイドライン作成の必要性について議論をしました。



4/12 JAM 新潟の事務所で JAM 新潟の組合員の皆さんと意見交換を行いました。

【発行元】JAM 本部 政策政治グループ 〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 11F  
[TEL:03-3451-2451](tel:03-3451-2451) 公式サイト  
⇒<https://murata-kyoko.com/>